

データ提供についての公開文書

つくば市では、研究課題「教育研究目的で共有可能な擬似患者データーdigital patientーの作成」のため、研究に用いる試料・情報を筑波大学へ提供いたします。本研究の概要は以下のとおりです。

(1) 試料・情報の利用目的及び利用方法

(1-1) 研究に関する概要

研究名称は「教育研究目的で共有可能な擬似患者データーdigital patientーの作成」です。

本研究は医療の質向上を目指し、教育者や研究者がプライバシーの問題を気にせずに利用可能な、擬似患者データーdigital patientーを作成します。

研究期間は2019年11月ー2020年3月31日です。

(1-2) 研究対象者の範囲

平成26年度から平成30年度までに、つくば市の特定検診を受診した方またはつくば市にて国民健康保険で医療機関を受診した方。

(2) 利用し、又は提供する試料・情報の項目

性別、年齢、病名情報、検体検査結果、処方服薬情報を加工し、人間の目には、項目も数値も意味もないものに変換されたあとのもの。

(3) 利用する者の範囲

筑波大学 研究責任者 鶴嶋英夫